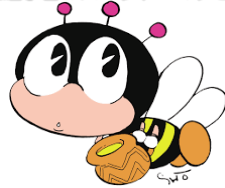


# ゆきの灯り

第95号

令和6年12月発行  
油木協働支援センター  
TEL 82-0701  
FAX 82-2228

生体学習マスコット：マナビイ



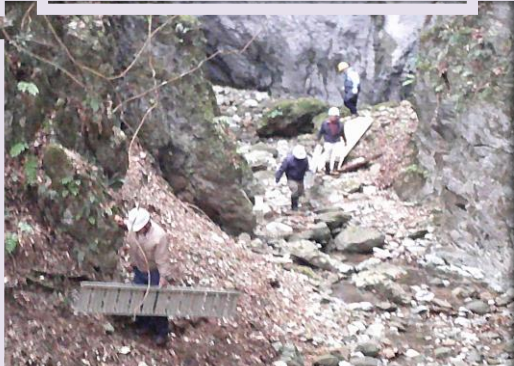
## 「鬼釜」現地調査を実施



11月8日(金)、化石魅力化プロジェクトによる、「鬼釜」(神石高原町新免)調査が実施されました。(鬼釜は、長い年月で浸食された岩壁がそびえる石灰岩地形です。)

残念ながら鬼釜内は入口あたりから奥に向けて雨水による水深のある水たまりが何か所もあり、調査隊の行く手を阻みましたが、その都度ハシゴと板を渡して橋を作りながら前進して行き、最終的には代表者3名が「鬼釜」の奥まで到達することができました。(奥行きは約100mありました。)

本プロジェクトでは改めて時期を変えて「鬼釜」を調査し、今後の「保全・活用」を検討していきたいと思っております。



## 第6回ゆき軽トラ朝市開催

～全6回開催、お世話になりました～

11月15日(金)、本年度最後の「ゆき軽トラ朝市」を開催しました。

当日は雨も予想され、会場は急遽改装中の「Re・create BASE」の軒先を使用することになりました。(改装工事前の朝市風景が戻ったようでした。)

旬の冬野菜の販売や焼き芋の販売等が行われ、常連の方や車で通りがかりの方も立ち寄りながら買物をされていました。

全6回、無事終了しました。関係の皆様、ありがとうございました。



「油木匠展」に出展された故大杉登先生の彫刻「笛を吹く少年」が、ご家族の方より油木小学校へ寄贈されました。子どもたちが校内で気軽に芸術・文化に触れる環境が増えれば良いですね。

## 芸術・文化が「豊かな心」を育みます



## アートクラブ③

11月25日(月)、若林佐都子先生の指導で「アートクラブ③」を開催しました。

今回の講座は年末恒例の「消しゴムはんこ」作りで、令和7年干支の「巳」をモチーフに制作しました。

予めデザインを準備されていた方もおられ、彫り方等のアドバイスを受けながら彫刻刀を使い分けて、細かな作業を続けることができました。



## お花畑教室①

11月18日(月)、福岡佑映先生の指導で「お花畑教室①」を開催しました。

初めての企画講座で、今回はクリスマスをテーマに「リース作り」を学びました。

細かな作業も多くありましたが、講師の指導や手本を参考にしながら、同じ材料でもそれぞれ個性的な作品が出来上がりました。どこに飾られるか楽しみです。



# 11月のゆきキッズ

多種多様な体験活動や交流を通じて、子どもたちは新しい発見をしていきます。

### ■ものづくり教室③

(11月9日)

松岡純夫先生の指導で、「ものづくり教室③」を開催しました。今回は杉材を利用して「本立て」を作りました。ノコギリ等の工具も安全・上手に使うことができました。



### ■楽描教室③ (11月16日)

若林佐都子先生の指導で、「楽描教室③」を開催しました。来年の干支である「へび」を、折り紙を使った「ちぎり絵」で表現しました。



### ■しめ縄作り教室

(11月23日)

赤木恵先生の指導で、「しめ縄作り教室」を開催しました。毎年恒例のお正月を迎える準備で、「家」に飾ることを目標に楽しく作業を行い、メガネ型のしめ縄が完成しました。



※「自然を楽しむ会」は雨天中止となりました。

### ■年末年始「お休み」のお知らせ

#### ■油木協働支援センター

12月28日(土)～1月5日(日)

#### ■油木協働支援センター分室「にしかわ」

#### ■にしかわ化石館

12月28日(土)～1月5日(日)

「理解・ご協力をよろしくお願い致します。」



年末の大掃除

# 伝統映像撮影会を実施

11月9日(土)、「忠原山八幡神社」に於いて伝統文化伝承部会による祭事撮影が行われました。  
昔より地域の方々が伝えて盛り上げる祭事を、ドローン等を使用して多様な角度から記録に残すことができました。  
撮影された映像は部会活動の中で、編集される予定です。



# にしかわ化石館へようこそ

東油木百楽会(10月17日)・安田豆まめクラブ(10月28日)の皆さんが「にしかわ化石館」に来館され、故西川功氏が遺された「化石・鉱石等」を見学されました。  
初めて来館された方もおられ、熱心に説明を聞いて、改めて「にしかわ化石館」の価値を認識していただけたと思います。



(東油木百楽会)

(安田豆まめクラブ)

にしかわ化石館(0847-81-0309) 開館日：月・水・金(10:00~19:00)

## 「化石レプリカ作り」体験教室開催!(ゆきふるさとまつり)

「にしかわ化石館」は、「令和6年ゆきふるさとまつり」にブースを設け、「化石レプリカ作り」体験教室を開催しました。23人の子どもたちが参加して、楽しい時間を過ごすことができました。



今回の「化石レプリカ作り」体験教室は、「にしかわ化石館」開館の中心人物である元地域おこし協力隊・尾森武尊さん(呉市)の全面協力がありました。(ふるさとまつり1週間前にも諸準備で油木へ来てもらいました。)

現在の「にしかわ化石館」は尾森さん退任から専門家不在が続き、故西川功さんが遺された「化石・鉱物類」を活かして町に還元しきれていないのが現状です。町の生涯学習の拠点として「にしかわ化石館」の更なる活用法について、アイデアを示唆いただければ幸いです。(神石高原町の財産です)

# -KARAOKE No.1 決定!!- ゆきヒットスタジオ開催



12月1日(日)、「ゆきヒットスタジオ」(主催：油木協働支援センター・文化イベント部)を開催しました。  
「カラオケ好き」の歌自慢(老若男女)がシルトピア体育館へ集い、日頃鍛えた歌声を披露して会場は大いに盛り上がりました。出演者の皆さん、「熱唱・熱演」お疲れさまでした。ご協力感謝します!!



結果発表	第1位	恒川小夏さん(トライエプリング)	97.058点
	(全60曲中)	第2位 森恵美さん(真夏の夜の夢)	96.032点
		第3位 天野一花さん(手をつなごう)	95.930点

## 「中学1年生作・手作りベンチ」が届きました

10月21日(月)、神石高原中学校から手作り「ベンチ」が届きました。これは1年生が「総合的な学習の時間」に神石郡森林組合(安田)の協力で、「間伐材」を利用して作製した力作です。  
このベンチは今後、有効活用させていただく予定です。ありがとうございました。



一話の聞き方で心をつなぐ(参考：新潟県教育委員会・新潟県地域家庭教育推進協議会「家庭教育支援ハンドブック」)

★地域で子どもを見守り育てましょう(油木協働支援センター)



- ※聞く時のポイント**
- ①忙しくても手を止めて顔を見て聞く。
  - ②話の途中で口を挟まず、最後まで聞く。
  - ③話を聞いたら、まずは気持ちを受け止めて共感する。
  - ④親の価値観を押し付けない。
  - ⑤伝えたいことは「私なら～するよ」「私は～がいいと思うよ」と私(アイ)メッセージで伝える。

聞いてもらうことで、安心感を持ち、もっと話せるようになります。

わかってもらえることで、相手に対する信頼感が育ちます。

会話を通して、親子の信頼関係が築けます。



「聞いてもらった」「話してくれた」の気持ちを大切に、会話をこころがけましょう。

### 言葉のボールをキャッチして心もしっかり受け止めましょう

